

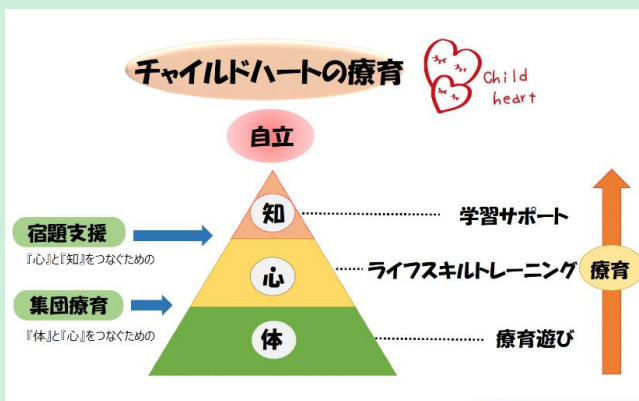
チャイルドハート 唐津エールズ ailes

支援プログラム I

子ども達が本来持つ自由さや柔軟さ、考える力を養い、社会という大空へ羽ばたけるよう (aile)、精一杯のエール (yell) をもって支援を行います

<療育って何?>

利用する子どもたちが、**社会人として自立**出来るよう、治療と教育のバランスを保ちながら支援を行います。医療的行為ではなく、**心理社会的アプローチ (関りを通した育み)**を提供します



<療育の考え>

“子供の成長は「体」「心」「知(頭)」の順番で行われる”との考えのもと、図のピラミッドを意識した療育を行っております。全力で身体を動かした先に子どもの成長はあります
「心」「体」「知(頭)」のバランスを整えることで、**育み**のお手伝いをします



<どんなことをするの?>

運動遊びを中心に、「一緒に」という**協調心**、「やってみよう」という**挑戦心**、「出来た」という**達成感**を育みます

※主なイベント

季節に合わせた活動：花見、海水浴、栗拾い、ハロウィン、クリスマス、餅つきなど
体験学習：農作業、自然体験、乗馬、クッキングなど



<障がいって何?>

現在、日本には視力が0.1以下の方が約3割います

これが、江戸時代であれば、日本人の約3割が目が見えない、いわゆる「障がい者」ですが、**眼鏡・コンタクト**という「**環境**」のおかげで、普通に過ごすことが出来ています

困り感を抱く子どもの「**環境**」を変えることが出来れば、過ごしやすい日常を過ごすことに繋がります

5つの支援を通して ～根拠ある療育で健やかな成長を～

本人支援を5つの領域に分けて個別支援計画書を作成しております

子どもがどう感じ、どう思い、どう成長していくのか、計画書を元にその育みをお手伝いします

<健康・生活>

「なかなか寝てくれない…」

寝る事は意識して出来ません。夜の食事時間や就寝前・就寝時の環境、朝どう起きるかを一緒に考えましょう

※支援項目

健康状態の把握・健康の増進
基本的な生活スキルの獲得など



<運動・感覚>

「不器用なところがある」

育みはお腹の中から始まっています。運動発達の順番や時期、原始反射の残存、感覚の特性など、不器用さの背景にある原因（発達の凸凹）を一緒に考えましょう

※支援項目

姿勢と運動・動作の基本的技術の向上
保有する感覚の活用、感覚特性への対応など



<認知・行動>

「切り替えるのが苦手かも…」

子どもは楽しいか楽しくないかで行動を決めます。切り替えスイッチがあるのか？切り替えた先の行動は楽しいものなのか？**行動の前後に着目**し、よりベターな声掛けや環境の調整方法を考えていきましょう

※支援項目

知覚から行動への認知過程の発達
認知や行動の手がかりとなる概念の形成など



<言語・コミュニケーション>

「癩癩を起こして困っている…」

泣き叫びますか、それとも叩きますか？今のこの子にとって気持ちを伝える最善の選択肢です。おしゃべりすることと気持ちを発信する力は別です。**気持ち（感情）を代弁**することを始めてみましょう

※支援項目

言語形成と活用、受容・表出言語の支援
コミュニケーション能力の獲得など



<人間関係・社会性>

「友だちと仲良く遊べるかな…」

友だちと言う社会に入るための**安心・安全な場所**はありますか？初めてのことに挑戦する心は育まれていますか？

まずは大人と一緒に様々な体験遊びをしましょう。

※支援項目

アタッチメントの形成・模倣動作の支援
感覚運動遊びから象徴遊びへの移行
一人遊びから共同遊び、集団遊びへの支援



5つの領域はそれぞれが分かれているようで、全てが繋がっています
点と点が線になり、子どもの育みに繋がります



「私たちは**子ども第一**の精神で支援します」（法人理念）

＜家族支援＞

子育ては両親だけで行うものではありません。両親の要望をお伝えいただき、特性理解を一緒に行い、お子様への最善な関りを考えましょう

※支援項目

個別面談、保護者会、ペアレントトレーニングなど

＜移行支援＞

転園、就学は子どもにとって**一大イベント**です。環境の変化による身体への影響は親が思うより大きいものだと感じます

※支援項目

転園先への情報伝達、就学先との支援会議など

＜地域支援・地域連携＞

子どもの社会性は家ではなく、園や習い事、事業所で育まれます。**地域で子育て**を行いたいと思います。

※支援項目

園での支援会議、協議会への参加、地域交流など

＜職員の質の向上取り組み＞

子どもも大人も一緒に成長します

知識・技術の身につける環境を整えています

※年間計画

管理者研修、新人研修、各種委員会研修、実務研修、学習支援研修、発達専門員による症例検討会、法人内での学習会、事業所外の研修など

＜アタッチメント（愛着）＞

愛着障害は、愛情不足ではなく、誰もが抱えているものです。そして、**育みの土台**となるものです
子どもとの信頼関係を構築し、安全・安心の場所の提供が本事業所で一番初めに行うことです

＜発達・原始反射について＞

お腹の中から育みは始まります。寝返りやはいはいなど、子どもにとって全てが重要です
また、原始反射は命を守るための無意識の動作です。大切な反射ですが、残ってしまうと生活に影響を及ぼす場合もあります
発達の凸凹も、原始反射の残存も適切な関りによって**改善していく**ことが可能です

＜感覚統合＞

私たちは無意識に触れて、目で見て、匂って、聞いて、味わいます
この他に立ったり、身体のイメージが分かたりと、感覚を通して自分以外の世界と繋がります
感覚の未成熟は情緒面、言語面、対人面などで多くの問題を引き起こします
遊びを通して、**無意識下で起こる様々な問題を解決**していきます



根拠ある療育を
実現します

私たちは**唐津**の児童福祉を支えます

<所在地>
 佐賀県唐津市新興町196
 MoSCo 太洋ビル2階

<サービス内容>
 児童発達支援

<運営法人>
 株式会社チャイルド（佐賀県伊万里市）
 ※同一法人：飯塚（福岡）、二丈（糸島）



<職員情報>
 管理者（事業所の運営管理）、児童発達支援管理責任者（支援内容の管理）
 理学療法士、作業療法士、保育士

専門職員も多数



<開所時間、支援提供時間>
 開所時間 月曜～金曜日（祝日も含む） 8時30分～17時30分
 支援時間 月曜～金曜日（祝日も含む） 9時～16時（二部制）
 ※要望により土曜日開所の場合あり

<対象者>
 療育の観点からその必要性が認められる未就学児
 診断の有無に関わらず、発達に特性のある子どもも利用

<利用料金>
 所得に応じて利用料金が決められている
 児童発達支援の場合、年少～年長児は無償化対象児童として無料

利用者負担額の上限		
生活保護受給世帯 ・ 市町村民税非課税世帯	市町村民税課税世帯 前年度の年間所得 890万円までの世帯	市町村民税課税世帯 前年度の年間所得 890万円以上の世帯
負担上限月額 0円	負担上限月額 4,600円	負担上限月額 37,200円

TEL 0955-58-8700
 FAX 0955-58-8701

☞ **チャイルドハート** で検索

詳しくはこちら

CHILDHEART_KARATSU